

## 第36回 埼玉県新型コロナウイルス感染症専門家会議 概要

1. 日時：令和3年7月5日（月）18：00～19：30

2. 会場：庁議室

3. 委員（敬称略 五十音順）

池田 一義	一般社団法人埼玉県商工会議所連合会会長（WEB参加）
岡部 信彦	川崎市健康安全研究所 所長（WEB参加）
金井 忠男	埼玉県医師会 会長
小谷野 和博	埼玉県中小企業団体中央会会長（WEB参加）
近藤 嘉	日本労働組合総連合会埼玉県連合会会長（WEB参加）
坂木 晴世	国際医療福祉大学大学院 准教授（WEB参加）
讃井 将満	自治医科大学附属さいたま医療センター 副センター長（WEB参加）
竹田 晋浩	かわぐち心臓呼吸器病院 理事長・院長（WEB参加）
松田 久美子	埼玉県看護協会 会長（WEB参加）
光武 耕太郎	埼玉医科大学国際医療センター 教授（WEB参加）
三村 喜宏	埼玉県商工会連合会会長（WEB参加）

4. 県側参加者

大野 元裕	知事
高田 直芳	教育長（WEB参加）
安藤 宏	危機管理防災部長（WEB参加）
山崎 達也	福祉部長（WEB参加）
関本 建二	保健医療部長
星 永進	保健医療部 参事
本多 麻夫	保健医療部 参事
板東 博之	産業労働部長（WEB参加）
岸本 剛	衛生研究所 副所長
堀井 徹	都市整備部 副部長（WEB参加）

## 5. 主な意見

### ア 7月12日以降の対策について

- 東京と隣接した一部の地域を措置区域に加えることについて、都内で感染したと考えれば、加えることが有効かどうかは検討の余地がある。メッセージを発信すべきではないか。（岡部委員、坂木委員）
- 現場の感覚では、重症患者が少し増えており、危機感がある。県民へのメッセージ性を考えると、東京と隣接した一部の地域を措置区域に加えたうえで、まん延防止等重点措置を延長すべき。（讚井委員）
- 東京由来の感染者が多いことを理由に措置区域を追加するのであれば、飲食店の時短営業を中心とした現行措置との整合性が取れない。さいたま市及び川口市と措置内容を区別すべきではないか。（池田委員）

### イ 新型コロナウイルスワクチン接種について

- 特措法第24条第4項に基づく要請の内容について賛成。ワクチンの供給量が少ないのであれば、決まりごとが必要であり、最初の戦略に基づかないと混乱の元となる。（岡部委員）
- 知事の要請文中の「反故にされ」はまさにその通り。ワクチンの供給が明確に示されなければ身動きが取れない。（金井委員）

### ウ 令和3年度県営プールの夏季プール運営について

- 利用人数の制限や更衣室のロッカーの間引きは密を作らないための効果がある。（岡部委員）
- 泳ぐ際や休憩時のマスク着用は徹底しすぎない方がいい。（岡部委員）
- 海外ではキャンプで大規模なクラスターが発生した事例がある。プールも歓声を上げる娯楽のため、多少のリスクはあるのではないか。（坂木委員）